

# 過去問ミニテスト体験 問題用紙 国語

## 受験上の注意

- 試験時間は 20 分間です。
- 机の上には「受験票」「筆記具」「消しゴム」以外のものを置いてはいけません。
- 指示があるまではこの問題用紙を開いてはいけません。
- 声を出して問題を読んではいけません。
- 問題用紙は持ち帰って下さい。
- その他、監督の先生の指示に従って下さい。

駒込中学校

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(句読点や記号は一字と数えます。)

そもそも「コミュニケーション」は、英会話とは限らないどころか、会話をはるかに超えているので、①英会話の決まり文句を暗記しても、いざ使ってみると、現実の世界ではパターン通りにはいきません。

漫画家サトウサンペイさんの体験談です。クルーズ船に乗って世界一周の旅に出ました。運動がてら甲板を歩いていたら、向こうから外国人らしい人がやってきた。よし、勇気を出して英語で話しかけてみよう、と思い、How are you? と挨拶してみた。

「あれっ? How are you? と言われたら、英語では、Fine, thank you. And you? と返すんじゃないの? 英会話の本にはそう書いてあったぞ。And you? と聞かれたら、Fine. って答えようと思っていたのに」とガツクリです。「発音が悪かったのかな? いや、OK って返事したから、通じてはいるんだよな」などと考えてしまいました。

いったいどうして、英会話の本に書いてある通りにいかなかったのでしょうか。

それは相手が人間だからです。人間は、決められた通りに話したりしません。それぞれが自分の判断で状況によって対応を変えます。話しかけられた外国人の身になって考えてみましょう。

たまたまジョギングしていたら、いきなり知らない人から英語で話しかけられ驚いて、とりあえずOKとだけ答えたのかもしれませんが。英語が母語ではないので、英語で挨拶を返せず困ったのかもしれませんが。頭の中で考えごとをしながら走っていたので、答えるのが面倒だったのかもしれませんが。何か用事があったて急いでいたのかもしれませんが、もしかすると見知らぬ他人と話すのは苦手な人なのかもしれません。

単純な挨拶でも、How are you? のやりとりがうまくいかないこともありえるという例で分かるように、英会話の本や教科書に書かれているままにはいかないことがあるのです。

教科書は基本を教えてくれるので、出てきた表現を覚える価値はありますが、相手が人間である以上、そこから外れる人も出てきてしまいます。日常の会話やギンや交渉など、さまざまな状況で行われるコミュニケーションは単純ではないので、思い通りにはいきません。でも、うまくいかないからと自信を失わないで下さい。英語の問題というより、コミュニケーションそのものが、そもそも一筋縄ではいかないのです。

付け加えれば、コミュニケーションというのは、自分の中で行うこともあります。心の中で自問自答したり、腹を立てて思わず罵ったりする感情表現も、コミュニケーションです。

英語などの外国語でコミュニケーションをすとなれば、そこに「文化」が入り込んできます。これを「異文化コミュニケーション」と呼ぶのは、異なる文化同士で何かを伝え合うには、お互いの文化の違いを意識しないとコミュニケーションが成立しないからです。

「文化」とは、料理や服装や建築など「目に見える文化」だけでなく、その言語を話す人々が共有している価値観や常識など「目に見えない文化」もあります。

B 「公平」とは何かは、文化によって違ってきます。平等に競う機会があることが「公平」だと考える文化もあれば、「競争」は良くないと考える文化もあり

ます。「個人」を優先させる文化もあれば、個々の人間よりは「集団」を大切にする文化もあります。黙だまっているのは負けだと考える文化もあれば、「沈黙は金」だと尊ぶ文化もあります。一つの文化について、この文化はこうだ、と決めつけてしまうのは①キケンですが、②それぞれの文化に違いがあることは知っておく必要があります。

『なんで英語、勉強すんの？』鳥飼玖美子くみこ（設問の都合上、一部本文を改めました。）

注 罵る ひどい言葉で悪口を言う。

問一 線①「英会話の決まり文句を暗記しても、いざ使ってみると、現実の世界ではパターン通りにはいきません」とありますが、なぜですか。その理由を説明した連続した三文の、最初の五字を答えなさい。

問二 A・B に当てはまることばを、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は複数回使えません。

ア たとえば イ あるいは ウ つまり エ なぜなら オ ところが

問三 線㉞・㉟のカタカナを、それぞれ漢字に直しなさい。

問四 線②「それぞれの文化に違いがあることは知っておく必要があります」とありますが、なぜですか。理由として最も適当なものを、記号で答えなさい。

ア 価値観や常識を統一した上でないと、異文化間のコミュニケーションは成立しないから。

イ 価値観や常識の差異を意識しないと、異文化間のコミュニケーションに問題が生じるから。

ウ お互いの文化を紹介し合うことで、異文化間のコミュニケーションが盛り上がるから。

エ お互いの文化が重視するものを知ること、異文化間のコミュニケーションが始まるから。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（句読点や記号は一字と数えます。）

小学四年生の本田シオリ（ホン子）は、『おかえし』という絵本の読み聞かせをとおして、二年生の橋本ユウキ、斎藤カズヤと仲良くなった。『おかえし』は、きつねとたぬきがおくりものおかえしをしあっているうちに、家の中身がそっくり入れかわってしまふという物語である。  
ある日ホン子のもとへ、ユウキの担任の木村先生がやってきた。

木村先生は、四角くおりたたんだ一枚の紙をさしだした。

「橋本くんからの手紙。読んでくれる？」

ホン子が紙をひらくと、そこにはまるでようちえん児のような

X

字で、こう書いてあった。

ほんこ、ありがとう

ほんこのおかげで ①じ よめるようになった

ゆうき

ホン子が泣き虫なのを知っているから、会わずに行っただろうか。

「ちがう学校に行くんですね」

「そうなの」

木村先生が目頭をおさえている。「あの子、ほんとうにあなたのおかげで字が読めるようになったのよ」

「え？」

「橋本くん、耳で聞いたことはなんでもおぼえていられるの。わたしたちもかなわないくらい。でも、どういうわけか字がおぼえられなくて。なんだか、どの字もごちゃごちゃした線に見えるらしいの。だけど、あなたが本を見せながら何度も同じ話を読んでくれたおかげで……あの子、なんとか、音と字をむすびつけようとしたのよ。そして、とうとう成功したの。だから、『おかせし』の本に出てくるひらがなは全部読めるようになった。あの子の場合はそのくらいいいんだ、っていうことに、これまで、だれも気がつかなかったの。だって、同じ話を何十回も読んでくれる人なんていなかったから。字は、おうちの人もわたしたちも、何度も教えようとしたの。でも、あの子はおぼえられなかった。ところが、おはなしをききながらだっただけでできたのよ。楽しかったからだわね、きっと。そして、たぶんあなたに読んでもらったからだと思う。CDとかの音声教材でためしたこともあったんだけど、そんなにうまくいかなかったから」

「……」

木村先生は、ちいさくためいきをついた。

「書くのはわたしが教えていたんだけどね。そばについていればなんとか書けるときもあったし。でも、その手紙は、あの子が始めてひとりで書いたの。誰にも教えてもらわずに。だから、これからは、いろんなことができるようになると思う」

「じゃあ、どうして……」

(中略) 木村先生は、ホン子のおかげでユウキに文字を教える方法がわかり、ユウキは特別なトレーニングができる学校に転校するのだと話した。(

「先生、わたし、ユウキくんの手紙のおへんじ書きます」

「そうね。ひらがなで書いてあげてね。あ、でも、わたしはもうわたしであげられないけど」

「だいじょうぶです。カズヤくんにたのみますから」

そういいながら、ホン子の頭の中にはやくもこれからの手紙のやりとりがうかんでいた。

ホン子がおへんじを書けば、きっと、そのおへんじが来るだろう。

そうしたら、おへんじのおへんじを書くのだ。

おへんじのおへんじのおへんじが来たら、おへんじのおへんじのおへんじのおへんじを書く。

おへんじのおへんじのおへんじのおへんじが来たら、おへんじのおへんじのおへんじのおへんじを書く……手紙のやりとりがエンドレスにつづくんじゃないかと想像したら、なんだか楽しくなってきた。

でも、いつかおへんじは来なくなるかもしれない。

ユウキに新しいともだちができて、カズヤもホン子も遠い過去の思い出になってしまふ日が来たら。その日には、「おかえし」も「しかえし」も「おへんじ」も、すべてがとまる。

いつのまにか梅雨もあけて、図書室のじゅうたんには、強い夏のひざしがふりそそいでいた。

この風景にも、ユウキにも、もう「おかえり」はいえない。

ホン子のまぶたに、なにかがあふれてきた。

ちよつとしょっぱくて、ちよつとほろにがいなにかが。

でも、セミしぐれの声をきいているうちに、それはなんだかあまらずっぱい味に変わってきた。②なにかの終わりは、きつとなにかのはじまりなのだ。

からっぽになった本棚たちが、ホン子に呼びかけている気がする。

③この世界には、エンドレスに「おはなし」があるんだよ、と。

小松原宏子（ひろこ）『図書委員は泣かない』（設問の都合上、一部本文を改めました。）

問一 X にあてはまることばを記号で答えなさい。

ア りりしい                      イ すがすがしい                      ウ たどたどしい                      エ うやうやしい

問二 線部①「じ よめるように なった」とありますが、誰が誰に、どんなことをして、どうなったからですか。五十五字以内で答えなさい。

問三 線部②「なにかの終わりは、きつとなにかのはじまりなのだ」とありますが、このことが季節の移り変わりとして表れている一文の最初の五字を答えなさい。

問四 線部③「この世界には、エンドレスに『おはなし』があるんだよ」とは、どういう意味ですか。記号で答えなさい。

ア 図書室の改装が終わった後にも、ホン子はたくさんの素晴らしい本に出会えるということ。

イ ホン子とユウキの友情は、環境が変わったとしても今と変わらずに続いていくということ。

ウ 直接目には見えなくても、この社会では多種多様な人が支え合っているということ。

エ 今まで続いてきた人や物との関係がとだえたとしても、また新たな出会いがあるということ。

